

地籍フォーマット2000

フォーマットチェッカー

操作説明書

令和8年4月

国土交通省 不動産・建設経済局

地理空間情報課

はじめに

フォーマットチェッカーは、『地籍フォーマット2000』の様式に基づき作成された数値地籍情報のデータが、所定の基準に従い正しく記録されているかをチェックするソフトウェアです。

従来、利用者は数値地籍情報データが正しく作成されているかを、データのダンプリスト等でしか確認出来なかった為、チェックに抜けがあったり、チェックする為に多くの時間が必要でした。

フォーマットチェッカーは、それらの問題点を解消すべくデータの構成及び内容を素早く正確にチェックする機能と、データの内容を画面で簡単に確認する機能を備える事で、利用者に数値地籍情報のデータを、高い信頼性でより利用しやすいものにします。

目 次

| | | |
|-----|--------------------|----|
| 第1章 | 導入 | 1 |
| ■ | 動作環境 | 1 |
| ■ | インストール | 2 |
| ■ | アンインストール | 3 |
| ■ | 起動と終了 | 4 |
| ■ | 処理の流れ | 5 |
| 第2章 | チェック | 6 |
| ■ | ファイルの指定 | 6 |
| ■ | チェック項目の選択と開始 | 7 |
| ■ | チェック項目の説明 | 9 |
| ■ | ログファイルの説明 | 14 |
| 第3章 | 図面表示 | 15 |
| ■ | 図形情報の表示 | 15 |
| ■ | 図面の拡大 | 18 |
| ■ | 図面の縮小 | 19 |
| ■ | 表示縮尺の初期化 | 19 |
| ■ | スクロール | 19 |
| ■ | 図表示／非表示の切り替え | 20 |
| 第4章 | 情報の参照 | 22 |
| ■ | 筆情報 | 22 |
| ■ | 図根点等情報 | 25 |
| ■ | 筆界点情報 | 27 |
| ■ | 地図番号情報 | 29 |
| ■ | 地区別情報 | 31 |
| 第5章 | その他 | 32 |
| ■ | エラーの発生原因 | 32 |
| ■ | 街区成果出力 | 38 |

導入

動作環境

フォーマットチェッカーを実行するためには、以下のハードウェア及びソフトウェアが必要です。

①ソフトウェア

■OS : Windows 11 / 10

: 64bit

■Excel (2019 以降): エラーリストや検査結果成績書の表示、印刷に使用します。

②ハードウェア

■CPU : 上記OSが快適に動作する性能

■メモリ : 上記OSが快適に動作する容量

■ディスプレイ : 解像度 1024×768 ドット以上推奨

■ストレージ : インストールに約 10MB 程度、動作するにあたり 40MB 程度の
空き容量

| |
|---------------|
| 導入 |
| インストール |

フォーマットチェッカーを使用するには、インストール作業を行ってください。インストール作業は、以下の手順で操作します。

※インストール作業を行う際には、Windows の管理者権限があるユーザーアカウントが必要になります。

※既に、以前のバージョンのフォーマットチェッカーがインストールされている場合は、事前にアンインストールしてください。アンインストール操作は、3 ページに記載してあります。

- ① 起動中のアプリケーションがある場合には、それらを全て終了させます。
- ② ダウンロードしたファイル (setup.msi) を実行します。
- ③ フォーマットチェッカーのセットアップ画面が表示されるので、後は画面の指示に従って操作して下さい。

サンプルデータをインストールするよう指示した場合、ソフトをインストールしたフォルダ内に、サンプルデータがインストールされます。

- ④ 完了画面が表示されると、インストール作業は完了です。

(注意) 本ツールの使用には Microsoft .NET Framework 4.8 が必要です。

| |
|-----------------|
| 導入 |
| アンインストール |

フォーマットチェッカーをパソコンから削除するには、「アンインストール」作業を行ってください。アンインストール作業は、下記の手順で操作します。

※アンインストール作業を行う際には、Windows の管理者権限があるユーザーアカウントが必要になります。

Windows 11 の場合

- ①ソフトが起動している場合は、終了してください。
- ②画面下の Windows ボタンをマウスの右ボタンでクリックし、[インストールされているアプリ]をクリックします。
- ③[インストールされているアプリ]画面の一覧から「フォーマットチェッカー」項目の右端の[⋯]マークをクリックするとメニューが表示されるので、[アンインストール]をクリックします。
- ④アンインストール処理が開始されます。

Windows 10 の場合

- ①ソフトが起動している場合は、終了してください。
- ②画面左下の Windows ボタンをクリックし、設定（歯車のマーク）をクリックします。
- ③[Windows 設定]画面が表示されるので、画面内の[アプリ]をクリックします。
- ④[アプリと機能]の一覧から「フォーマットチェッカー」をクリックすると、[アンインストール]ボタンが表示されるので、それをクリックします。
- ④アンインストール処理が開始されます。

導入

起動と終了

フォーマットチェッカーを起動するには、以下の操作を行ってください。

インストール時、デスクトップにアイコンを作成した場合は、デスクトップ画面からアイコンをダブルクリックして起動できます。スタートメニューから実行する場合は、以下の操作を行います。

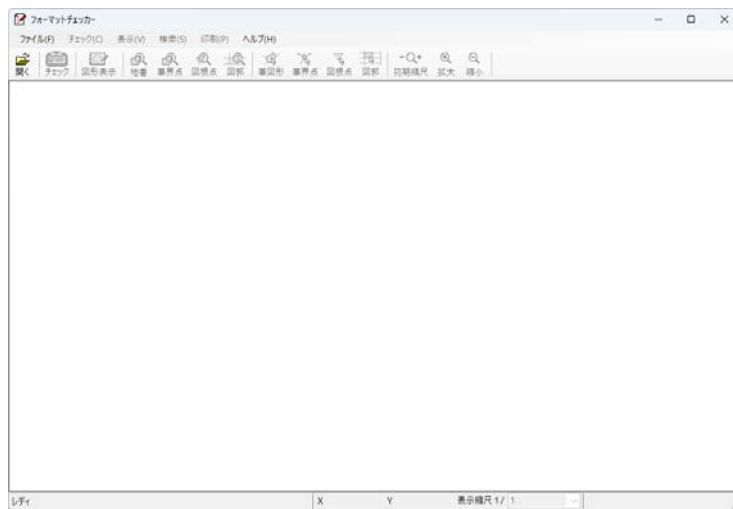
Windows 11 の場合

画面下の Windows ボタンをクリックし、[すべてのアプリ] をクリックします。アプリ一覧が表示されるので、[フォーマットチェッカー] フォルダの中の [フォーマットチェッカー] をクリックします。

Windows 10 の場合

画面左下の Windows ボタンをクリックし、プログラムメニューの中から [フォーマットチェッカー] グループの中の、[フォーマットチェッカー] をクリックします。

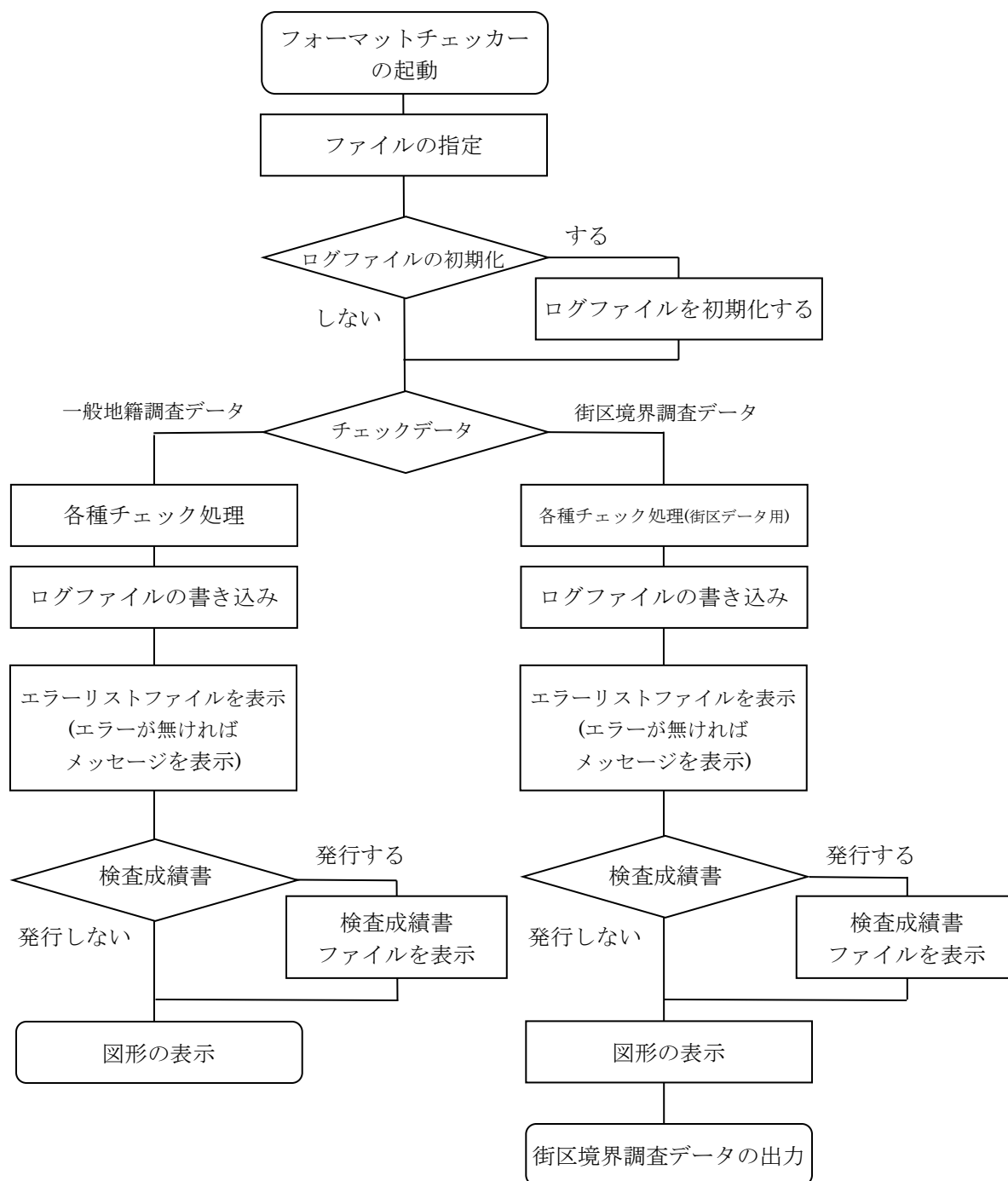
[フォーマットチェッカー] を起動すると、以下の画面が表示されます。



フォーマットチェッカーを終了するには、メニュー [ファイル] - [終了] を選択します。

導入

処理の流れ




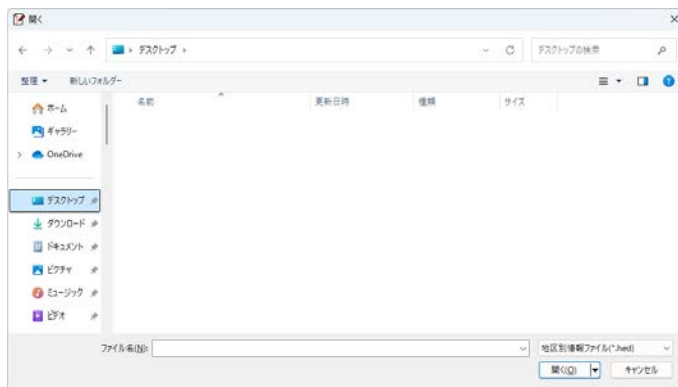
- フォーマットチェッカーを起動したときに前回チェック済みのデータが存在するときは、チェック処理を行わなくても図形を表示することが出来ます。

チェック

ファイルの指定

チェックするファイルグループを指定するには

- ① 画面上部の  ボタンをクリックします。
- ② ファイル選択画面が表示されます。




- ③ チェックしたいファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。
地籍フォーマット2000は複数のファイルから構成されていますが、ここでは「地区別情報ファイル」（拡張子が .HED のファイル）のみを指定します。
- ③ ファイル指定後、チェック処理（次ページ）に移ります。

チェック

チェック項目の選択と開始

指定したファイルグループを検査するには

- ① 画面上部の  ボタンをクリックします。
- ② [チェック項目選択] 画面が表示されます。



チェック項目選択

チェックデータ

☒ 一般地籍調査データ ☐ 街区境界調査データ

共通項目

- ☒ 記録形式チェック
- ☒ 範囲・書式チェック

セクション毎の固有チェック

- ☒ 地区別情報
- ☒ 地図番号情報
- ☒ 筆界点情報
- ☒ 図根点等情報
- ☒ 筆・長狭物図形情報
- ☒ 筆属性情報
- ☒ 共有者情報
- ☒ 筆界未定構成筆属性情報
- ☒ 仮行政界線情報

セクション間の関連性チェック

- ☒ 地区別情報－地図番号情報
- ☒ 筆界点情報－地図番号情報
- ☒ 筆界点情報－筆・長狭物図形情報
- ☒ 筆界点情報－図根点等情報
- ☒ 筆界点情報－仮行政界線情報
- ☒ 図形と属性との関連
- ☒ 属性関係
- ☐ 地区別情報－筆・長狭物図形情報

ログファイル

☐ ログファイルを初期化する

検査結果成績書

☐ 地籍フォーマット検査結果成績書を印刷する

開始 キャンセル

- ③ [一般地籍調査データ] または [街区境界調査データ] を選択し、検査したい項目にチェックを付けます。

各検査項目の説明は『チェック項目の説明』を参照して下さい。

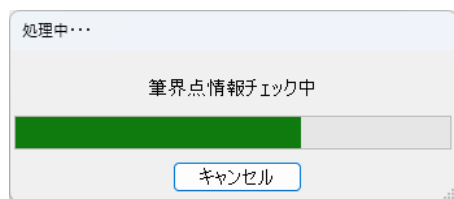
- ④ [開始] ボタンをクリックします。
- ⑤ チェック処理が開始されます。チェックは十数秒～数分かかります。

- [ログファイルを初期化する] チェックがオンの時は、チェック処理の前にログファイルの初期化を行います。

ログファイルについては [ログファイルの説明] を参照して下さい。

チェックの進行状況はプログレスバーで表示されます。

[キャンセル] ボタンにより処理を中止することが出来ます。



- ⑥ チェック完了後、エラーが1件も無いときはメッセージが表示され、エラーがあったときは「エラーリスト」ファイルが表示されます。
- ⑦ 「地籍フォーマット検査結果成績書を印刷する」チェックがオンの時は、「検査結果成績書」ファイルが表示されます。
- ⑧ チェック完了後、内容を図面に表示して確認できます。

| |
|-----------|
| チェック |
| チェック項目の説明 |

フォーマットチェッカーは、次の項目について検査を行います。

■ 共通項目

| 検査項目 | 検査内容 | エラー時表示メッセージ |
|---------------|---|---|
| 記録形式 チェック | 各レコード種別毎にカンマの数をチェックする | 記録されている項目数が正しくありません。 |
| | 各項目が指定された形式（整数、実数、漢字文字コード）で正しく格納されているかチェックする | 記録されている値が指定のデータ型と異なります。 |
| | 入力区分が A（必須）の項目にデータが格納されているかチェックする | データが格納されていません。 |
| | 入力区分が A（必須）の項目にデータが格納されているかチェックする | （注意）内容がブランクとなっています（明解でない場合は省略できます）。 ファイルが見つかりません。 |
| | 指定されたファイルグループのファイル構成が正しいかチェックする | |
| | 指定されたファイルグループのファイルが命名規則に沿っているかチェックする | ファイル名が指定様式と異なります。 |
| 範囲・書式 チェック | 各セクションで定義されているデータ項目の値が定められた範囲内の数値または文字のチェックする（n 項目） | 記録されている値が指定範囲外です。 |
| | 各セクションで定義されているデータ項目の値が定められた範囲内の数値または文字のチェックする（n 項目） 地番の書式が正しいかチェックする （仮地番は、「地籍調査必携」に記載の「長狭物、白地、筆界未定地等の仮地番の設定基準」に記載されている名称を基準としています） | 日付の形式が正しくありません。 |
| | | 地番の書式が正しくありません。 |
| | 地番の書式が正しいかチェックする （仮地番は、「地籍調査必携」に記載の「長狭物、白地、筆界未定地等の仮地番の設定基準」に記載されている名称を基準としています） | （注意）地番にアルファベットが使用されています。 （注意）設定基準以外の地番が仮地番として使用されています。 |

■ セクション毎の固有情報

| 検査項目 | 検査内容 | エラー時表示メッセージ |
|---------------|---|---|
| 地区別情報 | ファイル名と市区町村コードの関連性がとれているかチェックする | ファイル名と市区町村コードが一致していません。 |
| | フォーマットチェッカーのバージョンと、バージョン情報項目の値をチェックする | バージョンが異なります。 |
| | 街区番号をチェックする | (※3) 街区番号が設定されていません。 (※3) 街区番号が重複しています。 |
| | 座標系の指定をチェックする | (※3) (注意) 複数の座標系が記録されています。 |
| 地図番号情報 | 地図番号が地籍調査作業規程準則に定められた書式であるかチェックする | 地図番号の書式が正しくありません。 |
| | 図郭左下 X, Y 座標値から縮尺をもとに図郭右上 X, Y 座標値を計算し、地籍図に該当する図郭サイズかチェックする | (※1) 図郭のサイズが 30 cm×40 cm で記録されていません。 (※1) 図郭のサイズが 30 cm×40 cm もしくは、25 cm×35 cm で記録されていません。 |
| | | |
| 筆界点情報 | 筆界点名称が重複して記録されていないかチェックする | 筆界点名称が重複しています。 |
| | 座標値が同じで筆界点名称が異なるものがあるかチェックする | 座標値が重複しています。 |
| 図根点等情報 | 図根点名称が重複して記録されていないかチェックする | 図根点名称が重複しています。 |
| | 座標値が同じで図根点名称が異なるものがあるかチェックする | 座標値が重複しています。 |
| | 図根点種別が「11」電子基準点の場合、図根点の等級又は次数が「1」であるかチェックする | 図根点種別が 11(電子基準点)の場合、等級又は次数は 1 です。 |
| | 図根点の等級又は次数が、図根点種別に対応した内容で記録されているかチェックする | 図根点種別が〇〇の場合、等級又は次数は〇〇～〇〇です。 |
| 筆・長狭物 図形情報 | 地番が重複して記録されていないかチェックする | 地番が重複しています。 |
| | ポリゴンの構成をチェックする | 筆界点数と記録されている筆界点の数が一致しません。 |
| | | (※2) 筆図形の始点と終点の名称が異なります。 |
| | | 筆図形の終点の線分種別が 0(最終点) となっていません。 |
| | | (※2) 往復線分の線分種別が 5(区切線) となっていません。 |
| | 街区図形の構成をチェックする | (※2) 筆図形の場合、4 以上の筆界点が必要です。 |
| | | (※3) 街区図形の始点と終点の名称が異なります。 |
| | | (※3) 街区図形の地番が重複しています。 (※3) 街区境界線の場合、1 以上の筆界点が必要です。 |

| 検査項目 | 検査内容 | エラー時表示メッセージ |
|-------------|-----------------------------------|---|
| 筆属性情報 | 地番が重複して記録されていないかチェックする | 地番が重複しています。 |
| | 筆に係わる地図番号をチェックする | 地図番号数と記録されている地図番号の数が一致しません。 |
| | | 地図番号が記録されていません。 |
| | 地目コードが正しく記録されているかチェックする | 地目は 0～24、81～92 です。 |
| | | 筆状態が〇〇の場合、地目は〇〇です。 |
| | 筆状態により省略できない項目が記録されているかチェックする | 筆状態が〇〇の場合、〇〇が必要です。 |
| | 現地確認不能地の筆が存在するかチェックする | (※2) (注意) 現地確認不能地が存在しません。 |
| | 街区番号が正しく記録されているかチェックする | (※3) (注意) 街区番号が地区別情報と異なります。 |
| | 筆状態により所有者コード、所有者氏名が記録されているかチェックする | (※2) 筆状態が 6(長狭物)および 3(筆界未定地) 以外の場合、〇〇が必要です。 |
| 共有者情報 | 共有者数をチェックする | 所有者レコード数と記録されている所有者の数が一致しません。 |
| | | 持分の合計が正しくありません。 |
| | | 持分の分子が大きすぎます。 |
| 筆界未定構成筆属性情報 | 地番が重複して記録されていないかチェックする | 筆界未定地番が重複しています。 |
| | 仮地番が重複して記録されていないかチェックする | 筆界未定仮地番が重複しています。 |
| | 筆界未定構成地番数をチェックする | 筆界未定地番数と記録されている筆界未定地番の数が一致しません。 |
| | 地目コードが正しく記録されているかチェックする | 地目は 0～24、81～92 です。 |
| | | 筆状態が〇〇の場合、地目は〇〇～〇〇です。 |
| | 筆状態により省略できない項目が記録されているかチェックする | 筆状態が〇〇の場合、〇〇が必要です。 |
| 仮行政界線情報 | 仮行政界線をチェックする | 行政界線の名称が記録されていません。 |
| | 折れ点数をチェックする | 仮行政界点数と記録されている点名称の数が一致しません。 |

■ セクション間の関連性チェック

| 検査項目 | 検査内容 | エラー時表示メッセージ |
|-------------------------|--|---|
| 地区別情報－ 地図番号情報 | 地区別情報の測地系が日本測地系である場合、地図番号情報の新旧区分が既存の区画番号となっているかチェックする | 日本測地系の情報に世界測地系の区画番号で記録された地図番号が格納されています。 |
| 筆界点情報－ 地図番号情報 | 筆界点情報の筆界点区分が図郭点の場合の座標値が、地図番号情報の図郭左下XY座標と図郭右上XY座標で構成されるどれかの線上に存在するかチェックする | (※1) 図郭点が図郭線上にありません。 |
| | 筆界点情報の座標値が地図番号情報の図郭座標値の範囲内に存在するかチェックする | (※1) 筆界点の座標が図郭外です。 |
| 筆界点情報－ 筆・長狭物 図形情報 | 筆・長狭物図形情報の筆界点名称が、筆界点情報に記録されているかチェックする | 筆界点が筆界点情報に記録されていません。 |
| | 筆を構成する座標値が右回りとなっているかチェックする | (※2) 筆図形が左回りで構成されています。 |
| | 筆を構成する座標値で構成される線分同士が交差していないかチェックする | 図形の構成が正しくありません。 |
| | 線分種別と筆界点の「筆界点の状態」との適合をチェックする | (※3) 線分種別が筆界点情報と適合しません。 |
| 筆界点情報－ 図根点等情報 | 筆界点情報の図根点等の兼用項目に格納されている図根点名称が、図根点等情報に記録されているかチェックする | 兼用点が図根点情報に記録されていません。 |
| 筆界点情報－ 仮行政界線 情報 | 仮行政界線情報の点名称が、筆界点情報に記録されているかチェックする | 筆界点情報に記録されていません。 |
| 地区別情報－ 筆・長狭物図形 情報 | 地区別情報に設定されている街区数と街区図形数のチェックをする | (※3) 地区別情報の街区数と街区図形数が一致しません。 |
| 図形と属性 との関連 | 筆属性情報と地図番号情報の関連をチェックする | 地図番号が地図番号情報に記録されていません。 |
| | 筆属性情報と筆・長狭物図形情報の関連をチェックする | 同一地番の情報が筆・長狭物図形情報に記録されていません。 |
| | | 同一地番の情報が筆属性情報に記録されていません。 |
| | | 現地確認不能・滅失・不存在の地番が筆・長狭物図形情報に記録されています。 |
| | 図形線分種別と筆界点情報の「筆界点の状態」の適合をチェックする | (※3) 筆状態が筆・長狭物図形情報と適合しません。 |
| | 1つの街区を構成する地番の街区番号が一致しているかチェックする | (※3) (注意) 同一の街区に異なる街区番号が入力されています。 |

| 検査項目 | 検査内容 | エラー時表示メッセージ |
|----------|-----------------------------|--|
| 属性情報との関連 | 筆属性情報と共有者情報の関連をチェックする | 共有者情報が見つかりません。 |
| | | 共有者情報の地番が、筆属性情報または筆界未定構成筆属性情報に記録されていません。 |
| | | 共有者情報が存在するのに、「共有者情報の有無」が 0（無）で記録されています。 |
| | 筆属性情報と筆界未定構成筆属性情報の関連をチェックする | 同一仮地番の筆界未定構成筆属性情報が見つかりません。 |
| | | 同一仮地番の情報が筆属性情報に記録されていません。 |
| | | 同一地番の情報が筆属性情報に記録されています。 |
| | 筆界未定構成筆属性情報と共有者情報の関連をチェックする | 共有者情報が見つかりません。 |
| | | 共有者情報の地番が、筆属性情報・筆界未定構成筆属性情報に記録されていません。 |
| | | 共有者情報が存在するのに、「共有者情報の有無」が 0（無）で記録されています。 |

(※1) 地区別情報セクションの測地系項目の内容が「世界測地系」で、地図番号情報セクションの新旧区分が「既存の区画番号」の場合は、チェックの結果がエラーでもメッセージは表示しません。

(※2) チェックデータが「一般地籍調査データ」の場合にのみチェックします。

(※3) チェックデータが「街区境界調査データ」の場合にのみチェックします。

| |
|-----------|
| チェック |
| ログファイルの説明 |

ログファイルとは、チェック結果のエラー情報を履歴として残しておくファイルのことです。

- ログファイルは、選択した地区別情報ファイルと同じフォルダに作成されます。
ファイル名は地区別情報ファイル名と同じ名前、拡張子が「log」となります。
- ログファイルは、チェック年月日、エラー発生ファイル名、行数、項目名、エラー内容がカンマで区切られて記録されます。

● ログファイルの例

2025年6月6日, 13200_2023_200. pol, 31, 筆界点数, 筆界点数と記録されている筆界点の数が一致しません。
 2025年6月6日, 13200_2023_200. pol, 43, 筆界点数, 筆界点数と記録されている筆界点の数が一致しません。
 2025年6月6日, 13200_2023_200. lin, 2, 点名称, 筆界点情報に記録されていません。
 2025年6月6日, 13200_2023_200. lin, 3, 点名称, 筆界点情報に記録されていません。
 2025年6月6日, 13200_2023_200. pol, 7, 筆界点数, 筆界点数と記録されている筆界点の数が一致しません。
 2025年6月6日, 13200_2023_200. pol, 19, 筆界点数, 筆界点数と記録されている筆界点の数が一致しません。
 2025年6月6日, 13200_2023_200. pol, 25, 筆界点数, 筆界点数と記録されている筆界点の数が一致しません。
 2025年6月6日, 13200_2023_200. pol, 31, 筆界点数, 筆界点数と記録されている筆界点の数が一致しません。
 2025年6月6日, 13200_2023_200. pol, 43, 筆界点数, 筆界点数と記録されている筆界点の数が一致しません。
 2025年6月6日, 13200_2023_200. lin, 2, 点名称, 筆界点情報に記録されていません。
 2025年6月6日, 13200_2023_200. lin, 3, 点名称, 筆界点情報に記録されていません。
 2025年6月6日, 13200_2023_200. pnt, 4, 筆界点座標, 筆界点の座標が図郭外です。

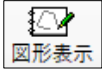
ログファイルの内容は、メモ帳（ワードパッド）や表計算ソフトを利用して確認することができます。

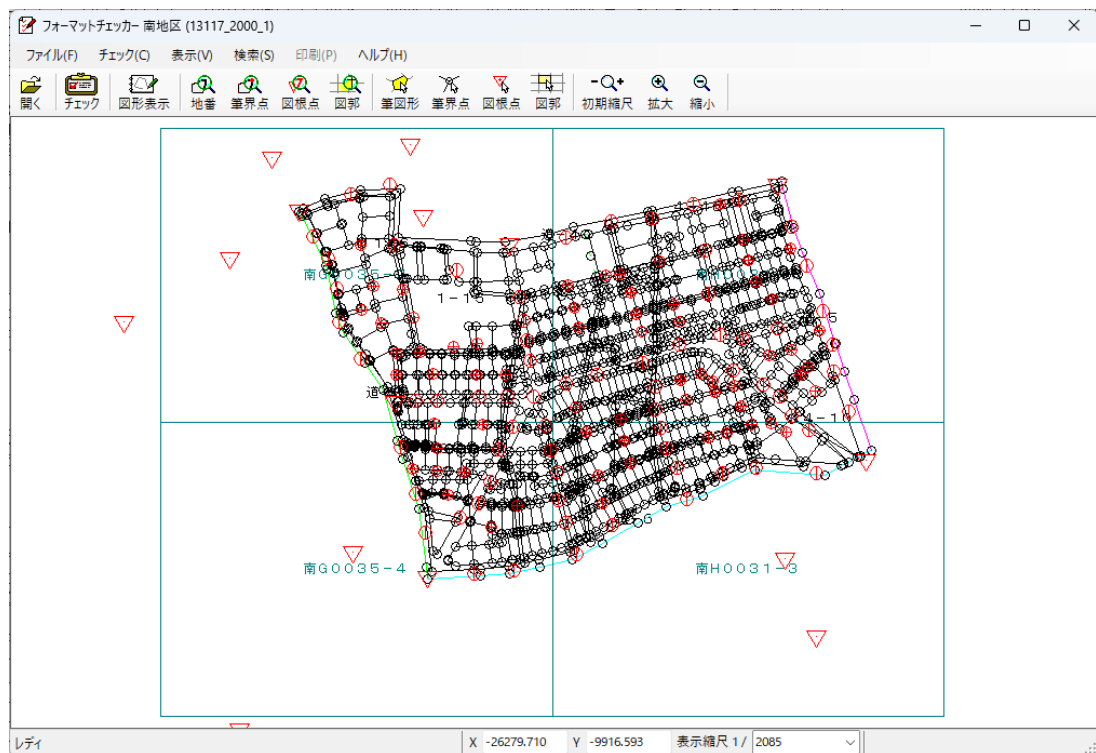
- [チェック項目選択] 画面で [ログファイルを初期化する] チェックをオンにしてチェックを行うと、ログファイルの内容をクリアしたのち、エラー情報を書き込みます。

図面表示

図形情報の表示

ファイルグループの内容を図形として画面に表示するには

- ① 画面上部の  ボタンをクリックします。
 - 前回チェックしたファイルグループは、チェックを実行しなくても表示することができます。
- ② 以下の図のようにチェックされたファイルグループの図形情報が表示されます。

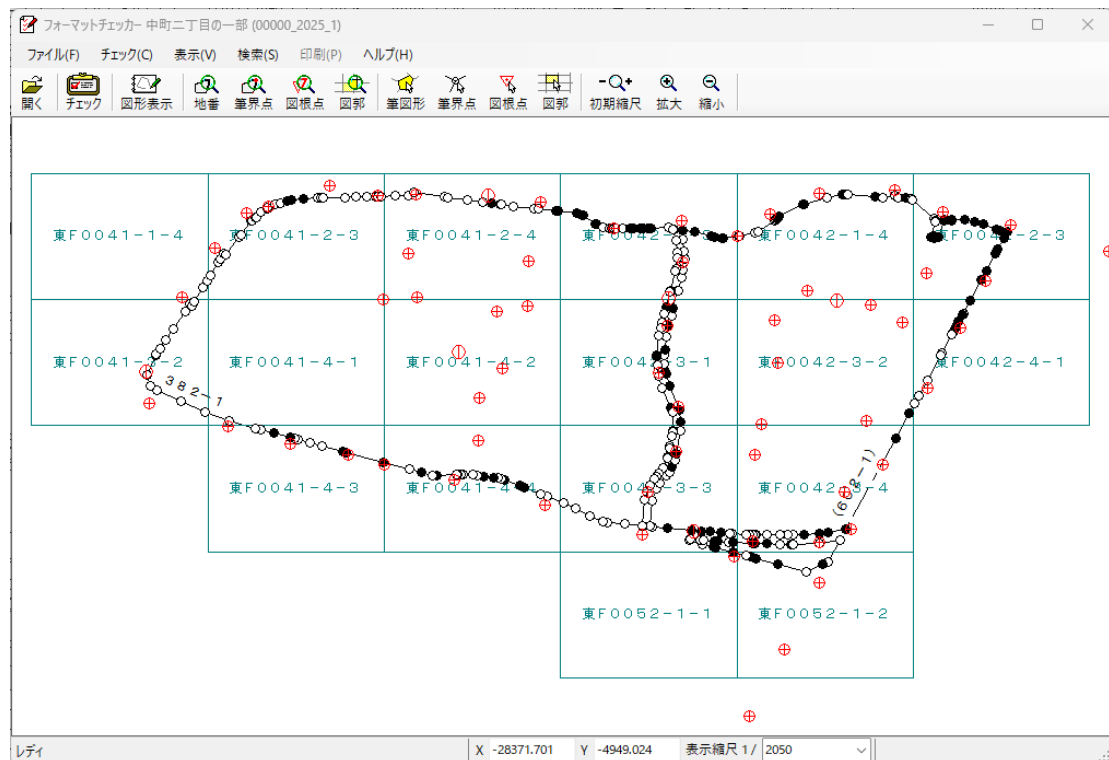


- 筆界線は、線分種別により画面では次の表のように表示されます。

| 線分種別 | 表示色 | 線種 |
|--------|-----|----|
| 筆界線 | 黒色 | 実線 |
| 字界線 | 緑色 | 実線 |
| 大字界線 | 水色 | 実線 |
| 市区町村界線 | 紫色 | 実線 |
| 区切線 | グレー | 実線 |
| 鎖線 | 黒色 | 鎖線 |
| 仮行政界線 | 黒色 | 点線 |

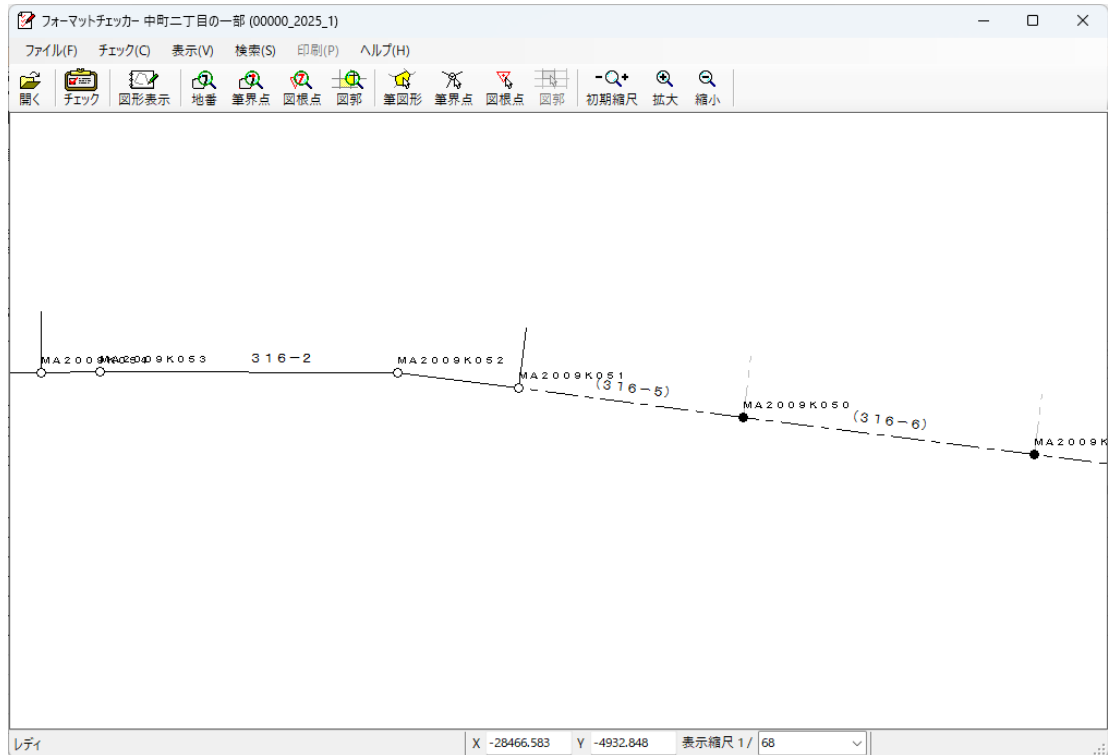
- 図根点は、国土調査法施行令第2条第2項の総理府令で定められている「基準点及び境界標等の表示」に準拠した記号で表示されます。
 - 図根点種別が”不明”の時は、図根点の記号は四角形（□）で表示されます。
- 筆界点は、○マークで表示されます。

➤ 街区境界調査データの場合



- 街区境界線は、線分種別により画面では次の表のように表示されます。

| 線分種別 | 表示色 | 線種 |
|-----------|-----|----|
| 筆界線 | 黒色 | 実線 |
| 字界線 | 緑色 | 実線 |
| 大字界線 | 水色 | 実線 |
| 市区町村界線 | 紫色 | 実線 |
| 区切線 | グレー | 実線 |
| 鎖線 | 黒色 | 鎖線 |
| 街区境界線のみ確認 | 黒色 | 実線 |



- 街区境界調査データでは地番を街区境界線に沿って表示します。筆の状態が街区境界未定のものは括弧付きで表示されます。
- 街区境界線上にある筆界点は、その状態が筆界点確認であれば○マークで表示され、それ以外は●マークで表示されます。また、筆界点が三者境界点である場合は街区の内側に向かって筆の境界があることを示すひげが表示されます。ひげはその起点となる筆界点の状態によって次のように表示されます。

| 筆界点の状態 | 表示色 | 線種 |
|----------------|-----|----|
| 筆界点確認 | 黒色 | 実線 |
| 未定（街区境界の線のみ確認） | グレー | 鎖線 |
| 未定（街区境界の線も未確認） | グレー | 鎖線 |
| 不明 | グレー | 鎖線 |

図面表示


図面の拡大

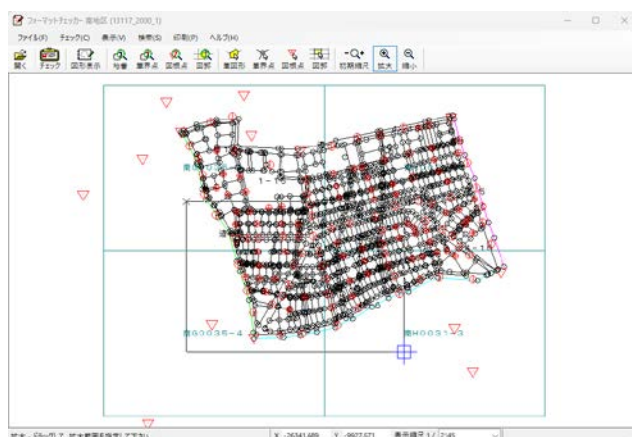
表示している図面を拡大するには

■ マウスホイールでの拡大操作について

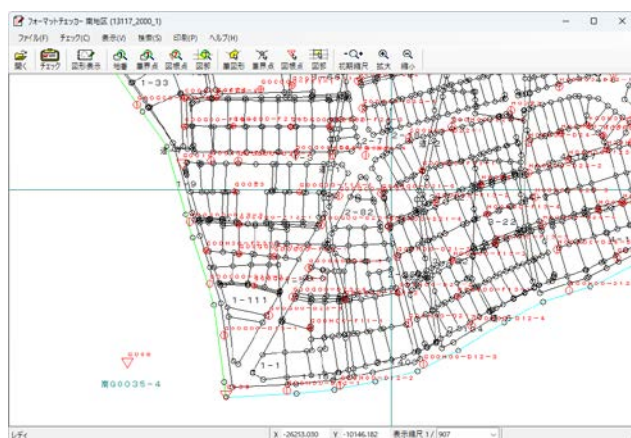
マウスホイールを上に戻すことでカーソルを中心に図面を拡大します。

■ 拡大機能について

- ① 画面上部の  ボタンをクリックします。
- ② 図面上で拡大したい場所でマウスの左ボタンを押します。
- ③ マウスを動かすと、下図のようにマウスの移動に合わせて枠が表示されます。



- ④ マウスを動かして拡大したい範囲を囲みます。
- ⑤ もう一度マウスの左ボタンを押すと、指定した範囲が画面いっぱいに拡大されて表示されます。




- ⑥ 図面上でマウスの右ボタンをクリックすると、拡大処理を中止します。

図面表示

図面の縮小

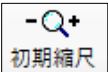
表示している図面を縮小するには

- マウスホイールでの縮小操作について
マウスホイールを下に回すことでカーソルを中心に図面を縮小します。
- 縮小機能について
 - ① 画面上部の  ボタンをクリックします。
 - ② 図面が縮小されて表示されます。

図面表示

表示縮尺の初期化

現在の図面に表示している縮尺を最初に図形を表示した縮尺に戻すには

- ① 画面上部の  ボタンをクリックします。
- ② 図形情報を最初に表示したときの縮尺に戻します。

図面表示

スクロール

表示している範囲を移動（スクロール）するには

- 図面上でマウスホイールを押しながらドラッグします。
- 図面上でのクリックによって情報を表示するメニュー [検索] - [筆界点クリック] 等の機能や [拡大] 機能を使用していないときはマウスの左ボタンでもドラッグで図面のスクロールが可能です。

図面表示

図表示／非表示の切り替え

筆図形の地番を表示するには

- ① メニューの〔表示〕－〔地番表示〕を選択します。
- ② メニューの〔表示〕－〔地番表示〕がチェック状態になると、筆図形内に地番文字が表示されます。また、チェックオフ状態になると地番が非表示になります。
デフォルトでは、チェック状態になっています。

- 筆図形の表示サイズが地番文字より小さいときは、地番が画面に表示されません。

⇒ 画面を拡大して筆図形内に地番文字が入るようになれば、地番文字が表示されるようになります。

筆界点記号を表示するには

- ① メニューの〔表示〕－〔筆界点表示〕を選択します。
- ② メニューの〔表示〕－〔筆界点表示〕がチェック状態になると筆界点の記号が表示されます。また、チェックオフ状態になると非表示になります。
デフォルトでは、チェック状態になっています。

- チェックオフ状態の時は、メニュー〔検索〕－〔筆界点クリック〕の機能が使用出来ません。

図根点記号を表示するには

- ③ メニューの [表示] - [図根点表示] を選択します。
- ④ メニューの [表示] - [図根点表示] がチェック状態になると図根点の記号が表示されます。また、チェックオフ状態になると非表示になります。
デフォルトでは、チェック状態になっています。
- チェックオフ状態の時は、メニュー [検索] - [図根点クリック] の機能を使用出来ません。


情報の参照


筆情報

筆情報を参照するには

① 参照する地番を指示する

◆ 地番により検索する

- 画面上部の  ボタンをクリックします。
- 「地番検索」画面が表示されます。



地番検索


大字 (指定なし) ▼
小字 (指定なし) ▼
地番 1 -

| 候補 | 大字 | 小字 | 地番 | 状態 |
|----|-----|-----|--------|----|
| | 中本町 | 五丁目 | 1 - 1 | 筆 |
| | 中本町 | 五丁目 | 1 - 2 | 筆 |
| | 中本町 | 五丁目 | 1 - 3 | 筆 |
| | 中本町 | 五丁目 | 1 - 5 | 筆 |
| | 中本町 | 五丁目 | 1 - 6 | 筆 |
| | 中本町 | 五丁目 | 1 - 9 | 筆 |
| | 中本町 | 五丁目 | 1 - 15 | 筆 |
| | 中本町 | 五丁目 | 1 - 18 | 筆 |
| | 中本町 | 五丁目 | 1 - 19 | 筆 |

OK キャンセル

- 「大字」「小字」「地番」欄のいずれかに、検索したい所在を入力します。
「地番」は全て入力しなくてもよく、入力した文字で始まる地番を検索します。
「大字」「小字」「地番」欄の入力に応じて、該当する地番が「候補」リストに表示されます。
- 目的の地番を「候補」リストから選択し、「OK」ボタンをクリックします。
該当の筆図形を中心に拡大表示し、該当の筆図形を青色で表示すると同時に、「筆情報参照」画面が表示されます。
ただし、該当の筆図形が見つからなかった時は、画面の表示は変わらずに「筆情報参照」画面が表示されます。

◆ 図面から筆図形をクリックする

- 画面上部の  ボタンをクリックします。
- 筆情報を参照したい筆図形をクリックします。
- クリックした筆図形を青色で表示すると同時に、「筆情報参照」画面が表示されます。

- [共有者]

筆情報参照

筆属性 筆構成 共有者 筆界未定構成筆属性

所有者レコード数 1 / 2

| | |
|--------|------------------|
| 所有者コード | 113000232 |
| 所有者カナ名 | ニホンコクドチョウサソクリョウ |
| 所有者氏名 | 日本国土調査測量株式会社 |
| 郵便番号 | 432-0038 |
| 住 所 | 東京都千代田区北一丁目50番5号 |
| 持 分 | 1 / 2 |
| 備 考 | |

閉じる(C)

共有者情報が2件以上ある時は、



ボタンを使用して他の

情報を確認出来ます。

- [筆界未定構成筆属性]

筆情報参照

筆属性 筆構成 共有者 筆界未定構成筆属性

筆界未定地番数 1 / 2

| | | |
|-------------|-----------------|-----|
| 大字 (コード・名称) | 1 | 中本町 |
| 小字 (コード・名称) | 1001 | 五丁目 |
| 地 番 | 2-5 | |
| 筆状態 | 1 | 筆 |
| 一筆地調査年月 | 202211 | |
| 地 目 | 3 | 宅地 |
| 地 積 | 461.01 | m² |
| 所有者コード | 113000232 | |
| 所有者カナ名 | ニホンコクド | |
| 所有者氏名 | 日本国土調査測量株式会社 | |
| 郵便番号 | 002-0033 | |
| 住 所 | 千代田区中央町一丁目50番5号 | |
| 共有者情報の有無 | 0 | 無 |

閉じる(C)

筆界未定情報が2件以上ある時は、



ボタンを使用して他の

情報を確認出来ます。


情報の参照

図根点等情報

図根点等情報を参照するには

① 参照する図根点を指示する


◆ 図根点名により検索する

1. 画面上部の  ボタンをクリックします。
2. 「図根点検索」画面が表示されます。




3. 「図根点名検索」欄に検索する図根点名を入力します。入力した内容で始まる点名が、「図根点候補」欄へ表示されます。
4. 「図根点候補」欄から目的の点名を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
該当の図根点を中心に拡大表示し、該当の図根点を青色で表示すると同時に、「図根点参照」画面が表示されます。

◆ 図面から図根点をクリックする

1. 画面上部の  ボタンをクリックします。
2. 情報を参照したい図根点をクリックします。
3. クリックした図根点を青色で表示すると同時に、「図根点参照」画面が表示されます。

- ② 「図根点参照」画面に属性情報を表示します。

 図根点参照 ×

| | | |
|--------|-------------|---------------|
| 図根点名称 | G 0 0 1 3 | |
| X座標 | -26,159.034 | m |
| Y座標 | -10,021.781 | m |
| 標高 | 8.652 | m |
| 図根点種別 | 4 | 地籍図根三角点 |
| 等級又は次数 | 1 | 1 級、1 等、1 次 |
| 標識区分 | 3 | 永久標識 |
| 材質区分 | 1 | 金属標 |
| 測量年月 | 2 0 2 2 1 1 | |
| 測定方式 | 2 | 地上法 (G N S S) |

閉じる(C)


情報の参照

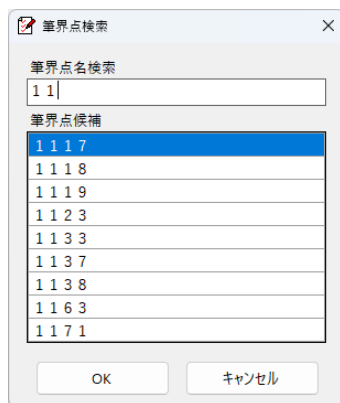
筆界点情報

筆界点情報を参照するには

① 参照する筆界点を指示する


◆ 筆界点名により検索する

1. 画面上部の  ボタンをクリックします。
2. 「筆界点検索」画面が表示されます。



3. 「筆界点名検索」欄に検索する筆界点名を入力します。入力した内容で始まる点名が、「筆界点候補」欄へ表示されます。
4. 「筆界点候補」欄から目的の点名を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
該当の筆界点を中心に拡大表示し、該当の筆界点を青色で表示すると同時に、「筆界点参照」画面が表示されます。

◆ 図面から筆界点をクリックする

1. 画面上部の  ボタンをクリックします。
2. 情報を参照したい筆界点をクリックします。
3. クリックした図根点を青色で表示すると同時に、「筆界点参照」画面が表示されます。

- ② 「筆界点参照」画面に属性情報を表示します。

| 筆界点参照 | | ✕ | |
|-------------------|-------------|-----|--|
| 筆界点名称 | 1 1 1 7 | | |
| X座標 | -26,282.642 | m | |
| Y座標 | -9,937.469 | m | |
| 標高 | | m | |
| 筆界点の区分 | 1 | 筆界点 | |
| 標識区分 | 1 | 非埋標 | |
| 材質区分 | 8 | 刻印 | |
| 測量年月 | 2 0 2 3 0 3 | | |
| 測定方式 | 2 | 数値法 | |
| 数値取得方法 | 2 | 実測 | |
| 図根点等の兼用 | | | |
| <div>閉じる(C)</div> | | | |


情報の参照

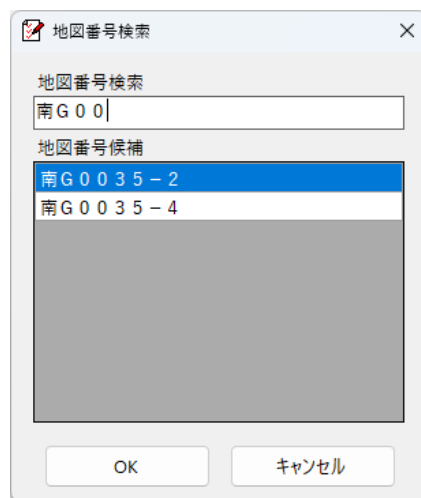
地図番号情報

地図番号情報を参照するには

① 参照する地図番号を指示する


◆ 地図番号により検索する

1. 画面上部の  ボタンをクリックします。
2. 「地図番号検索」画面が表示されます。



3. 「地図番号検索」欄に検索したい地図番号を入力します。入力した内容で始まる地図番号が、「地図番号候補」欄へ表示されます。
4. 「地図番号候補」欄から目的の番号を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
該当の地図番号が見つかった時は、該当の図面番号を中心に現在の縮尺で画面を表示し、該当の図郭線を青色で表示すると同時に、「図面番号参照」画面が表示されます。

◆ 図面から図郭をクリックする

1. 画面上部の  ボタンをクリックします。
2. 情報を参照したい図面番号の図郭線内側をクリックします。
3. クリックした地図番号を青色で表示すると同時に、「地図番号情報参照」画面が表示されます。

- ② [地図番号情報参照] 画面に属性情報を表示します。

地図番号情報参照

×

| | | |
|--------|-------------|--------------|
| 地図番号 | 南G0035-2 | |
| 縮尺 | 500 | |
| | X座標 | Y座標 |
| 図郭左下座標 | -26,250.000 | -10,200.000 |
| 図郭左上座標 | -26,100.000 | -10,200.000 |
| 図郭右上座標 | -26,100.000 | -10,000.000 |
| 図郭右下座標 | -26,250.000 | -10,000.000 |
| 実施機関名 | 山中県真中市 | |
| 実施区分 | 1 | 国土調査法に基づく地籍図 |
| 新旧区分 | 1 | 既存の区画番号 |
| | 調査年月 | 測図年月 |
| | 202211 | 202303 |
| | | |

閉じる(C)

情報の参照

地区別情報

地区別情報を参照するには

- ① メニュー [表示] - [地区別情報表示] 機能を選択する。
- ② [地区別情報参照] 画面に属性情報を表示します。

| レコード数 1 / 3 | |
|-----------------|-----------------------|
| 市区町村コード | 00000 |
| 市区町村名 | 東区 |
| 測地系 | 9 |
| 変換情報 | 2 新規作成 |
| 作成者 | 〇〇株式会社 |
| 作成年月 | 202409 |
| 調査地区名 及び街区番号 | 中町二丁目の一部 (MA02-1) |
| 街区面積 | 544.23 m ² |
| 測地系 | 2 世界測地系 |
| バージョン | Ver. 1.3 |

閉じる(C)

街区境界調査データで地区別情報情報が
2件以上ある時は、



ボタンを使用して他の
情報を確認出来ます。

| |
|----------|
| その他 |
| エラーの発生原因 |

① 共通項目

■ 地籍フォーマット2000の記録形式チェック

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|-------------------------------------|---|
| 記録されている項目数が正しくありません。 | 区切り文字のカンマ（,）が多いまたは少ない |
| 記録されている値が指定のデータ型と異なります。 | 整数項目に整数以外が、実数項目に実数以外が、文字項目に全角文字以外が入力されている |
| データが格納されていません。 | 入力区分がA（必須）の項目にデータが格納されていない |
| ファイルが見つかりません。 | 筆界未定の地番が存在するのに、筆界未定構成筆属性情報ファイルがない |
| ファイル名が指定様式と異なります。 | ファイル名が市区町村コード＋作成年度＋作業番号になっていない |
| （注意）内容がブランクとなっています（明解でない場合は省略できます）。 | 入力区分がA（必須）の項目だが、内容が明解でない場合は省略できる項目にデータが格納されていない |

■ 範囲・書式チェック

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|--------------------------------|---|
| 記録されている値が指定範囲外です。 | 地区別情報の[測地系]の値に1又は、2以外が入力されている等 |
| 日付の形式が正しくありません。 | 日付がYYYYMM形式で記録されていない |
| 地番の書式が正しくありません。 | 地番が「1 1 -」等ありえない形式で格納されている |
| ※（注意）地番にアルファベットが使用されています。 | 地番にアルファベットが含まれている |
| ※（注意）設定基準以外の地番が仮地番として使用されています。 | 仮地番に設定基準以外の文字が使用されている（仮地番は、「地籍調査必携」に記載の「長狭物、白地、筆界未定地等の仮地番の設定基準」に記載されている名称を基準としています） |

※チェックにより不適切と判断された場合でも、意図的に格納されている場合があるので、エラーではなく「注意」として検出されます。地籍フォーマット検査結果成績書のエラー件数も「注意」としてカウントされます。

② セクション毎の固有チェック

■ 地区別情報

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|-------------------------|---------------------------------------|
| ファイル名と市区町村コードが一致していません。 | 地区別情報の[市区町村コード]とファイル名の市区町村コードが一致していない |

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|----------------------------|--|
| バージョンが異なります。 | 地区別情報の[地籍フォーマット 2000 バージョン情報]が「Ver. 1. 0」、「Ver. 1. 2」、「Ver. 1. 3」のいずれかで記録されていない 街区境界調査データの場合に「Ver. 1. 3」で記録されていない |
| (※2) 街区番号が設定されていません。 | 街区番号が規定通りに記載されていない |
| (※2) 街区番号が重複しています。 | 地区別情報内で街区番号が重複している |
| (※2) (注意) 複数の座標系が記録されています。 | 複数レコードの座標系が一致していない |

■ 地図番号情報

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|--|---|
| 地図番号の書式が正しくありません。 | 地図番号の肩符が2桁の数字で入力されていない |
| 図郭のサイズが 30 cm×40 cm で記録されていません。 | 地区別情報の[測地系]が「1」（日本測地系）で、地図番号情報の[地図番号の新旧区分]が「1」（既存の区画番号）、[縮尺]が「1000」の時、図郭の右上Y座標と左下Y座標の差が400m・右上X座標と左下X座標の差が300mでない |
| 図郭のサイズが 30 cm×40 cm もしくは、25 cm×35 cm で記録されていません。 | 地区別情報の[測地系]が「2」（世界測地系）で、地図番号情報の[地図番号の新旧区分]が「2」（世界測地系対応の区画番号）、[縮尺]が「1000」の時、図郭の右上Y座標と左下Y座標の差が400m・右上X座標と左下X座標の差が300mでない、又はそれぞれ350m・250mでない |

■ 筆界点情報

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|----------------|-------------------------|
| 筆界点名称が重複しています。 | 同じ筆界点名称のレコードが複数存在する |
| 座標値が重複しています。 | 同じX Y座標値の筆界点レコードが他に存在する |

■ 図根点等情報

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|-----------------------------------|---|
| 図根点名称が重複しています。 | 同じ図根点名称のレコードが複数存在する |
| 座標値が重複しています。 | 同じX Y座標値の図根点レコードが他に存在する |
| 図根点種別が 11（電子基準点）の場合、等級又は次数は 1 です。 | 図根点種別が「11」（電子基準点）の時に、図根点の等級又は次数が「1」以外となっている |
| 図根点種別が〇〇の場合、等級又は次数は〇〇～〇〇です。 | 図根点の等級又は次数が、図根点種別ごとに設定可能な値以外となっている |

■ 筆・長狭物図形情報

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|----------------------------------|---|
| 地番が重複しています。 | 大字・小字・地番が等しいレコードが複数存在する |
| 筆界点数と記録されている筆界点の数が一致しません。 | [筆界点数]に記録されている値と、筆界点名称の個数が等しくない |
| (※1) 筆図形の始点と終点の名称が異なります。 | 記録されている最初の[筆界点名称]と、最後の[筆界点名称]が等しくない |
| 筆図形の終点の線分種別が 0（最終点）となっておりません。 | 筆図形を構成する点の最終点の線分種別が 0(最終点)となっていない |
| (※1) 往復線分の線分種別が 5（区切線）となっておりません。 | 筆図形がドーナツ状になっている場合、内側と外側を結ぶ線の線分種別が 5(区切線)となっていない |
| (※1) 筆図形の場合、4 以上の筆界点が必要です。 | [筆界点数]が 4 未満で記録されている |
| (※2) 街区図形の始点と終点の名称が異なります。 | 1 街区開始の筆界点レコードの筆界点名称と街区終点の筆界点名称が一致していない |
| (※2) 街区図形の地番が重複しています。 | 異なる街区図形で地番が重複している 同一街区内の地番重複はエラーではない |
| (※2) 街区境界線の場合、1 以上の筆界点が必要です。 | [筆界点数]が 1 未満で記録されている |

■ 筆属性情報

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|--|---|
| 地番が重複しています。 | 大字・小字・地番が等しいレコードが複数存在する |
| 地図番号数と記録されている地図番号の数が一致しません。 | [地図番号数]に記録されている値と、地図番号の個数が等しくない |
| 地図番号が記録されていません。 | [筆状態]が「1」（筆）又は「3」（筆界未定地）又は「6」（長狭物）の時に、[地図番号]が記録されていない |
| 地目は 0～24、81～92 です。 | 地目（コード）が規定の値で記録されていない |
| 筆状態が〇〇の場合、地目は〇〇です。 | 地目（コード）が、筆状態により設定できる値で記録されていない |
| 筆状態が長狭物および筆界未定地以外の場合、〇〇が必要です。 | 筆状態により省略できない項目に、値が記録されていない |
| (※1)（注意）現地確認不能地が存在しません。 | 現地確認不能地が存在しない |
| (※2)（注意）街区番号が地区別情報と異なります。 | 地区別情報に存在しない街区番号が記録されている。 |
| (※1) 筆状態が 6(長狭物)および 3(筆界未定地)以外の場合、〇〇が必要です。 | 筆状態により所有者コード又は所有者氏名に値が記録されていない |
| (※2) 筆状態が 6(長狭物)および 3(筆界未定地) および 10(街区境界未定) 以外の場合、〇〇が必要です。 | 筆状態により所有者コード又は所有者氏名に値が記録されていない |

■ 共有者情報

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|-------------------------------|-------------------------------------|
| 所有者レコード数と記録されている所有者の数が一致しません。 | [所有者レコード数]に記録されている値と、所有者情報の個数が等しくない |

| | |
|-----------------|--------------------|
| 持分の合計が正しくありません。 | 持分の分子／分母の合計が1より大きい |
| 持分の分子が大きすぎます。 | 持分の分子が分母の数より大きい |

■ 筆界未定構成筆属性情報

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|----------------------------------|---|
| 筆界未定地番が重複しています。 | 大字・小字・地番が等しいレコードが複数存在する |
| 筆界未定仮地番が重複しています。 | 筆界未定地大字・筆界未定地小字・筆界未定地仮地番が等しいレコードが複数存在する |
| 筆界未定地番数と記録されている筆界未定地番の数が一致しません。 | [筆界未定地番数]に記録されている値と、筆界未定地を構成するレコード数が等しくない |
| 地目は 0～24、81～92 です。 | 地目（コード）が規定の値で記録されていない |
| 筆状態が〇〇の場合、地目は〇〇です。 | 地目（コード）が、筆状態により設定できる値で記録されていない |
| 筆状態が長狭物、除外地および他行政区以外の場合、〇〇が必要です。 | 筆状態により省略できない項目に、値が記録されていない |

■ 仮行政界線情報

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 行政界線の名称が記録されていません。 | [仮行政界線]に値が記録されていない |
| 仮行政界点数と記録されている点名称の数が一致しません。 | [折れ点数]に記録されている値と、点名称の個数が等しくない |

③ セクション間の関連性チェック

■ 地区別情報－地図番号情報

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|---|--|
| 日本測地系の情報に世界測地系の区画番号で記録された地図番号が格納されています。 | 地区別情報の「測地系」が「1」（日本測地系）の時に、地図番号情報の[地図番号の新旧区分]に「2」（世界測地系対応の区画番号）と記録されている |

■ 筆界点情報－地図番号情報

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|-----------------|--|
| 図郭点が図郭線上にありません。 | 筆界点情報の[筆界点の区分]が「2」（図郭点）の筆界点のX Y座標値が、地図番号情報に格納されている全てのレコードの、図郭右上Y座標・左下Y座標・右上X座標・左下X座標のどれとも等しくない |
| 筆界点の座標が図郭外です。 | 筆界点のX Y座標値が、地図番号情報に格納されている全てのレコードの図郭右上Y座標・左下Y座標・右上X座標・左下X座標の外側で記録されている |

■ 筆界点情報一筆・長狭物図形情報

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|-------------------------|--|
| 筆界点が筆界点情報に記録されていません。 | 筆・長狭物図形情報の[筆界点名称]に記録されている名称が、筆界点情報に記録されていない |
| (※1) 筆図形が左回りで構成されています。 | 筆・長狭物図形情報の[筆界点名称]の並びが、右回りに図形が作成されるように記録されていない |
| 図形の構成が正しくありません。 | 筆・長狭物図形情報の[筆界点名称]から[筆界点名称]を結ぶ、隣り合っていない線分同士が交差している |
| (※2) 線分種別が筆界点情報と適合しません。 | <p>線分種別と「筆界点の状態」が以下のケースで不適合とする</p> <p>線分種別=1： 始終点の筆界点状態=2 もしくは=3 を含む</p> <p>線分種別=7： 始終点に筆界点状態=3 を含む</p> <p>線分種別=7： 始終点に筆界点状態=0 もしくは=2 を含まない</p> <p>線分種別=6： 始終点に筆界点状態=0 もしくは=3 を含まない</p> <p>線分種別は pol 情報、筆界点状態は pnt 情報 始終点は該当線分種別の筆界点と次の筆界点</p> |

■ 筆界点情報一図根点等情報

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|----------------------|--|
| 兼用点が図根点情報に記録されていません。 | 筆界点情報の[図根点等の兼用]に記録されている名称が、図根点等情報に記録されていない |

■ 筆界点情報一仮行政界線情報

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|------------------|---------------------------------------|
| 筆界点情報に記録されていません。 | 仮行政界線の[点名称]に記録されている名称が、筆界点情報に記録されていない |

■ 地区別情報一筆・長狭物図形情報

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|------------------------------|---|
| (※2) 地区別情報の街区数と街区図形数が一致しません。 | 地区別情報で設定されている街区数と筆・長狭物図形情報で設定されている街区図形数と一致しない |

■ 図形と属性との関連

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|--------------------------------------|---|
| 地図番号が地図番号情報に記録されていません。 | 筆属性情報の地図番号に記録されている名称が、地図番号情報に記録されていない |
| 同一地番の情報が筆・長狭物図形情報に記録されていません。 | 筆属性情報に記録されている大字・小字・地番が、筆・長狭物図形情報に記録されていない |
| 同一地番の情報が筆属性情報に記録されていません。 | 筆・長狭物図形情報に記録されている大字・小字・地番が、筆属性情報に記録されていない |
| 現地確認不能・滅失・不存在の地番が筆・長狭物図形情報に記録されています。 | 筆属性情報の[筆状態]の値が、「2」（現地確認不能）又は「7」（滅失）又は「8」（不存在）で記録されている筆は角形が存在しないが、同一大字・小字・地番が筆・長狭物図形情報に記録されている |
| (※2) 筆状態が筆・長狭物図形情報と適合しません。 | 図形の線分種別と筆界点情報の「筆界点の状態」と適合しない |
| (※2)（注意）同一の街区に異なる街区番号が入力されています。 | 1つの街区を構成する地番がもつ街区番号が全て一致していない |

■ 属性関係

| 印刷メッセージ | エラーの原因（例） |
|--|--|
| 共有者情報が見つかりません。 | 筆属性情報の[共有者情報の有無]の値が「1」（有）で記録されているのに、同じ大字・小字・地番の共有者情報が存在しない |
| | 筆界未定構成筆属性情報の[共有者情報の有無]の値が「1」（有）で記録されているのに、同じ大字・小字・地番の共有者情報が存在しない |
| 共有者情報の地番が、筆属性情報または筆界未定構成筆属性情報に記録されていません。 | 共有者情報に記録されている大字・小字・地番と同様の大字・小字・地番が筆属性情報または筆界未定構成筆属性情報に記録されていない |
| 共有者情報が存在するのに、「共有者情報の有無」が 0（無）で記録されています。 | 筆属性情報および筆界未定構成筆属性情報において、同じ大字・小字・地番の共有者情報が存在するが、[共有者情報の有無]の値が「0」（無）で記録されている |
| 同一仮地番の筆界未定構成筆属性情報が見つかりません。 | 筆属性情報の[筆状態]が「3」（筆界未定地）の時、大字・小字・地番が筆界未定構成筆属性情報の仮地番に記録されていない |
| 同一仮地番の情報が筆属性情報に記録されていません。 | 筆界未定構成筆属性情報の筆界未定大字・筆界未定小字・筆界未定仮地番が、筆属性情報の大字・小字・地番に記録されていない |
| 同一地番の情報が筆属性情報に記録されています。 | 筆界未定構成筆属性情報の構成地番（大字・小字・地番）が、筆属性情報の大字・小字・地番に記録されている |

(※1) チェックデータが「一般地籍調査データ」の場合にのみチェックします。

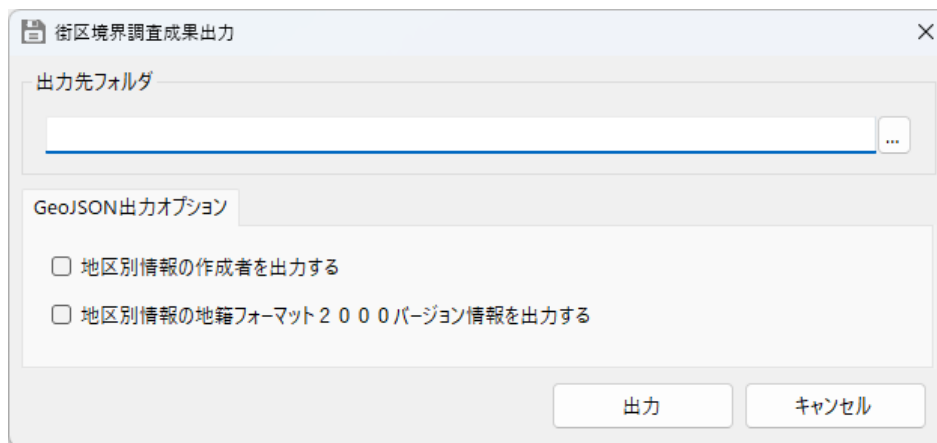
(※2) チェックデータが「街区境界調査データ」の場合にのみチェックします。

その他

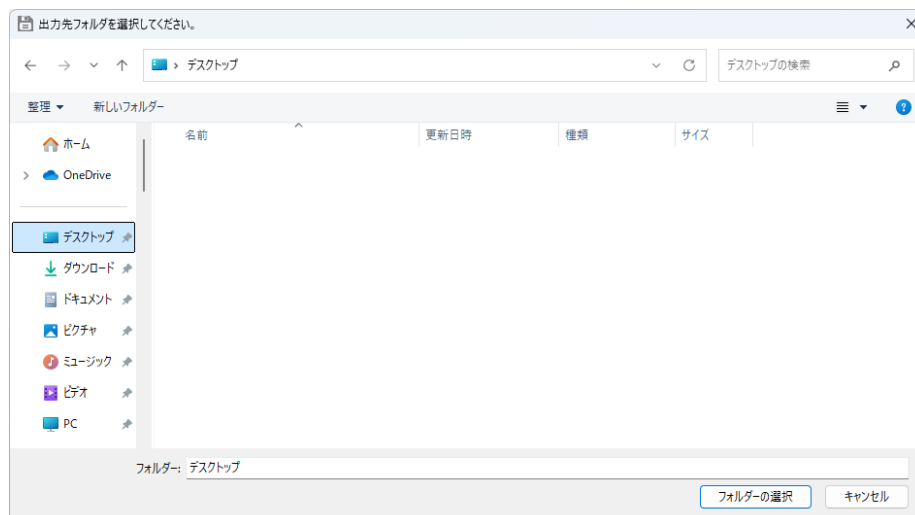
街区成果出力

街区成果を出力するには

- ① チェックを完了した街区境界調査データの図形表示を行う。
- ② メニュー [ファイル] - [街区成果出力] 機能を選択する。
- ③ [街区境界調査成果出力] 画面が表示されます。



- ④ 地区別情報の「作成者」と「地籍フォーマット2000バージョン情報」の出力有無と出力先フォルダを設定します。[...] ボタンをクリックすることでフォルダ選択画面が表示されます。



- ⑤ [街区境界調査成果出力] 画面で「出力」ボタンをクリックすることで指定したフォルダに GeoJSON 形式のファイルが出力されます。

■ 街区成果出力機能では次の 6 種類のファイルが作成されます。

| No. | ファイル名 | 内容 | 図形種 | データ単位 |
|-----|---------------|---|---------------|-------|
| 1 | 街区.geojson | 街区番号等の街区境界調査に関する 共通情報及び調査対象の街区に関する情報 | ポリゴン (多角形) | 街区 |
| 2 | 街区境界筆.geojson | 街区境界に位置する土地に関する情報 | ライン(線) | 筆 |
| 3 | 街区境界線.geojson | 街区境界を構成する線に関する情報 (街区境界未定か否かの種別情報) | ライン(線) | 線分 |
| 4 | 街区境界点.geojson | 街区境界を構成する点に関する情報 | ポイント(点) | 筆界点 |
| 5 | 図根点.geojson | 街区境界調査で用いた図根点に関する情報 | ポイント(点) | 図根点 |
| 6 | 図郭.geojson | 街区境界調査図に関する情報 | ポリゴン (多角形) | 図郭 |

- データは地籍フォーマット 2000 形式で入力されたデータをそのまま GeoJSON 形式に変換し出力します。エラーデータについても修正等を行われないためチェックの結果を確認してから出力してください。